

2025年度「特に優れた業績による返還免除」 「教員になった者に対する返還免除」 申請のしおり

申請期間 2026年1月20日(火)～1月27日(火) 10:00～16:00 (要予約)
(土日祝日は除く)

※期間を過ぎての申請は受付できません。

申請する方は、以下の手順により申請してください。

1. 下記フォームを入力 ※申請資格の有無を確認します。
[申請フォーム](#) ← [こちら](#) 【申請期限：2026年1月14日(水)】
2. 提出日を予約する
[予約フォーム](#) ← [こちら](#) 【予約期限：2026年1月18日(日)】※学内LANのみ接続可
3. この「しおり」を熟読し、申請に必要な書類、証明書等を準備する。
※申請書に記載する業績などは、必ず指導教員に事前確認し、提出すること。
4. 予約した提出日時に申請書類一式を提出する。
提出場所：学び・学生支援機構学生支援課経済支援係(330記念交流会館内・2番窓口)
5. 不備書類がある場合の追加・差し替え
 - ・申請受付後2～3週間以内に、学生支援課から書類の追加・修正や、申請内容について照会をすることがあります。その場合は、指定された期限を厳守してください。
 - ・申請期間終了後の申請は認められませんが、やむを得ない事情により申請時に添付できない根拠資料がある場合は、申請時にその旨を申し出たうえで、2月5日(木)までに提出してください。2月5日(木)までに提出された業績が審査対象となり、それ以降は一切の追加・修正はできません。

☆注意事項：

- 申請期間以外は申請書類を受理しません(事前連絡があった場合を除く)。
- 指定された期限までに必要書類を提出しない場合は、免除の対象者にならないことがありますので注意してください。
- 申請しても免除になるとは限りません。
- 免除が許可されても、全額免除されるとは限りません。
- その他、質問等がある場合は事前に学生支援課に相談してください。

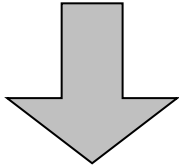
《返還免除申請に関する問い合わせ先》

宮崎大学学び・学生支援機構学生支援課経済支援係(330記念交流会館内 2番窓口)

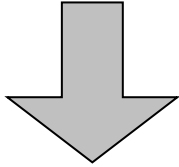
TEL:0985-58-7976 [問い合わせフォーム](#)

「特に優れた業績による返還免除」申請 から結果通知までの流れ

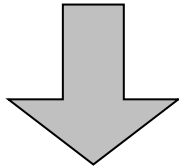
しおり等[ダウンロード](#)



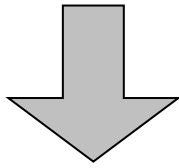
申請資格の確認



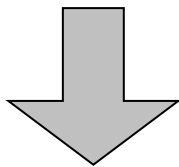
申 請



学内選考



日本学生支援機構での審議



審 議 結 果 通 知

申請する方は、申請フォームを入力ください。

[こちらをクリック](#)

（その際に、申請資格の有無を確認します。）

提出日時の予約フォームを入力ください。

[こちらをクリック](#)

申請期限(1/27)は厳守してください。

※やむを得ない事情により申請期間内に申請できない場合は、事前に学生支援課に連絡すること。

※申請受付後、係から書類追加や内容確認の連絡をすることがあります。指定する期限までに書類の修正・追加がなされない場合、免除の対象者にならないことがありますので注意してください。

大学からの推薦者に対し、日本学生支援機構が審議を行い、返還免除者を決定します。

※免除が許可されても、全額免除されるとは限りません。

2026 年 7 月下旬予定

日本学生支援機構から直接本人へ返還免除認定結果がはがきで通知されます。（6月末時点でスカラネットパーソナルに登録の住所）

※大学から日本学生支援機構に推薦されなかった方には、大学からその旨通知します。

※2026 年 4 月以降、現住所が変更になる場合は、5 月末までにスカラネットパーソナルにより住所変更を行ってください。また、郵便局に転居届を提出してください。

（１）特に優れた業績による返還免除

【制度の概要】

大学院で第一種奨学金（授業料後払い制度含む）の貸与を受けた学生であって、貸与期間中に所属課程において「特に優れた業績を挙げた者」として日本学生支援機構が認定した場合に、貸与を受けた奨学金の全額または半額の返還が免除される制度です。

【対象者】

以下①～④全てに該当する者

- ①大学院第一種奨学金採用者で、2025年度中に貸与が終了する者（2026年3月末までに退学・貸与辞退・在学期間短縮修了、廃止をした方も対象となります）

※在学期間短縮修了や2026年3月末までに第一種奨学金の貸与を辞退する場合、返還免除を申請する前に、辞退の「異動願（届）」の提出が必要です。学生支援課経済支援係（330記念交流会館2番窓口）にて申し出てください。

- ②貸与終了時に在学している課程で特に優れた業績を挙げた者（課程修了は要件としません）

- ③返還誓約書を提出済みの者

- ④口座振替（リレー口座）加入申込手続き済みの者

※博士課程の者で、博士課程在学中に国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が実施する「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェロシップ創設事業」、「次世代研究者挑戦的研究プログラム（SPRING）」又は「国家戦略分野の若手研究者及び博士後期課程学生の育成事業（BOOST）次世代 AI 人材育成プログラム（博士後期課程学生支援）」の支援を受けた者は、特に優れた業績による返還免除の対象外です。

【“特に優れた業績”の項目】

日本学生支援機構が定める業績の種類と評価基準、それに準じて宮崎大学が定める項目は6頁の別表（基準表）のとおりです。現在、在籍している課程での専攻分野に関連した学内外での申請者本人の業績（奨学金貸与期間中の業績）が対象です。

なお、申請期間は厳守としますが、やむを得ない事情により、申請時に提出できない根拠資料がある場合は、2月5日（木）まで書類の追加提出を認めます。2月5日（木）までに提出された業績が審査対象となり、それ以降の追加・修正は一切認めませんので、あらかじめご了承ください。また、複数の業績がある場合は、複数の業績について申請可能です。

※博士課程又は博士後期課程の学生については、業績の種類「学位論文その他の研究論文」が以下のいずれかに該当する必要があります。（令和元年度から適用）

- （１）学位論文の教授会で高い評価（平均水準以上）
- （２）査読付き学術雑誌への原著論文掲載（共著も含み、掲載決定も含む）
- （３）論文及び学会での発表に対する表彰又は受賞
（共著も含み、機構以外の給付奨学金の獲得や外部資金の獲得を含む）
学会での発表にはポスター発表を含む。

(2) 教員になった者に対する返還免除（教員免除）

【制度の概要】

大学院で第一種奨学金（授業料後払い制度含む）の貸与を受けた学生であって、貸与期間中に所属課程において「特に優れた業績を挙げた者」として日本学生支援機構が認定した場合、かつ教職大学院を修了または教職大学院以外の大学院*を一定の条件のもと修了のうえ、教員採用選考試験に合格し、教職大学院修了翌年度から正規教員として採用になる場合に、貸与を受けた奨学金の全額の返還が免除される制度です。

※教職大学院以外の大学院は、修士課程、博士前期課程、専門職学位課程が対象となります。博士後期課程（一貫制博士課程含む）は対象外。

【対象者】

以下①～⑤全てに該当する者

①大学院第一種奨学金（授業料後払い制度含む）採用者で、2025年度中に貸与が終了する者（2026年3月末までに退学・貸与辞退・在学期間短縮修了、廃止をした方も対象となります）

※在学期間短縮修了や2026年3月末までに第一種奨学金の貸与を辞退する場合、返還免除を申請する前に、辞退の「異動願（届）」の提出が必要です。学生支援課経済支援係（330記念交流会館2番窓口）にて申し出てください。

②貸与終了時に在学している課程で特に優れた業績を挙げた者

③返還誓約書を提出済みの者

④口座振替（リレー口座）加入申込手続き済みの者

⑤教職大学院（本学は教育学研究科）に在籍し、教員採用選考試験に合格、教職大学院修了の翌年度から正規教員として採用される予定の者

※教職大学院以外の大学院については、今年度は教員免除の対象となりません。

要件となる一定の条件のうち、「大学院において教職課程に位置付けられている一定の時間以上の「学校等での実習」を内容とする科目の単位を取得」について、本学では教育学研究科以外の研究科において本制度の対象となる実習科目がないため。

【“特に優れた業績”の項目】

日本学生支援機構が定める業績の種類と評価基準、それに準じて宮崎大学が定める項目は6頁の別表（基準表）のとおりです。現在、在籍している課程での専攻分野に関連した学内外での申請者本人の業績（奨学金貸与期間中の業績）が対象です。

なお、申請期間は厳守としますが、やむを得ない事情により、申請時に提出できない根拠資料がある場合は、2月5日（木）まで書類の追加提出を認めます。2月5日（木）までに提出された業績が審査対象となり、それ以降の追加・修正は一切認めませんので、あらかじめご了承ください。

また、複数の業績がある場合は、複数の業績について申請可能です。

【“教員免除”の項目】

- ・公立学校の教員採用だけでなく、国・私立学校等に採用された方も含みます。（臨時的任用や非常勤講師は含まれません。）
- ・対象となる学校種は次のとおりです。

幼稚園^(※)、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、
幼保連携型認定こども園

※保育士・幼稚園教諭として一括で採用試験が行われ、合格後異動等により将来的に幼稚園
や幼保連携型認定こども園に在職する可能性がある場合は対象となります。

- ・教員採用試験の受験については、初めての受験か否かは問いません。
- ・学部や大学院在籍時に、教員採用選考試験に合格し、大学院修了まで採用延期制度等の適用を受け在籍している方も含みます。
- ・既卒者（現職の教員や社会人含む）も含みますが、大学院に在籍し修了翌年度に新たに採用された場合のみが対象となります。大学院修了後に（既卒者として）正規教員の採用内定を得た場合は対象となりません。

【注意！】


申請者は、結果が出るまで（2026年7月頃）に、繰上返還（全額繰上または一部繰上）をしないでください。繰上返還した場合、免除決定が取り消される場合がありますのでご注意ください。

別表（基準表）

| 業績の種類 | 機構が定める評価基準 | 業績項目No. | 機構の評価基準に準じ、宮崎大学が定める項目 |
|---|---|---------------------------------|---|
| 学位論文その他の研究論文 | 学位論文の教授会等での高い評価、関連した研究内容の学会での発表、学術雑誌への掲載又は表彰等、当該論文の内容が特に優れていると認められること | 1)① 1)② 1)③ 1)④ 1)⑤ | 世界的レベルでの学術雑誌等に掲載された場合、または世界的レベルでの学会等で発表した場合 全国レベルでの学術雑誌等に掲載された場合または全国レベルでの学会等で発表した場合 西日本レベルでの学術雑誌等に掲載された場合または西日本レベルでの学会等で発表した場合 九州地区レベルでの学術雑誌等に掲載された場合または九州地区レベルでの学会等で発表した場合 県レベルでの学術雑誌等に掲載された場合または県レベルでの学会等で発表した場合 |
| 大学院設置基準(昭和49年文部省令第28号)第16条に定める特定の課題についての研究の成果 | 特定の課題についての研究の成果の審査及び試験の結果が教授会等で特に優れていると認められること | 2)① | 研究の成果が認められ、内容が特に優れていると認められた場合 |
| 著書、データベースその他の著作物（前2号に挙げるものを除く） | 専攻分野に関連した著書、データベースその他の著作物等が、社会的に高い評価を受けるなど、特に優れた活動実績として高い評価を得ていると認められること | 3)① 3)② 3)③ | 世界的レベルでの学術雑誌等に掲載された場合または世界的レベルでの学会等で発表した場合 全国レベルでの学術雑誌等に掲載された場合または全国レベルでの学会等で発表した場合 九州地区レベルでの学術雑誌等に掲載された場合または九州地区レベルでの学会等で発表した場合 |
| 発明 | 特許・実用新案等が優れた発明・発見として高い評価を得ていると認められること | 4)① | 特許・実用新案等が優れた発明・発見と認められた場合 ※特許番号取得済みのものに限りします。 |
| 授業科目の成績 | 講義・演習等の成果として、優れた専門的知識や研究能力を修得したと教授会等で高く評価され、特に優秀な成績を挙げたと認められること | 5)① 5)② | 出席を完全に満たし、全ての科目の評価が秀である場合 出席が8割以上、科目の評価の秀が8割以上である場合 |
| 研究又は教育に係る補助業務の実績 | リサーチアシスタント、ティーチングアシスタント等による補助業務により、学内外での教育研究活動に大きく貢献し、かつ特に優れた業績を挙げたと認められること | 6)① 6)② | 補助業務等により学外での教育研究活動に大きく貢献し、特に優れた業績を挙げたと認められた場合 補助業務等により学内での教育研究活動に大きく貢献し、特に優れた業績を挙げたと認められた場合 ※RA・TAに関する業績は2件までが対象となります。 |
| 音楽、演劇、美術、その他の芸術の発表会における成績 | 教育研究活動の成果として、専攻分野に関連した国内外における主要な発表会等で高い評価を受ける等、特に優れた業績を挙げたと認められること | 7)① 7)② 7)③ 7)④ 7)⑤ | 世界的レベルでの発表会等で高い評価を受けた場合 全国レベルでの発表会等で高い評価を受けた場合 西日本レベルでの発表会等で高い評価を受けた場合 九州地区レベルでの発表会等で高い評価を受けた場合 県レベルでの発表会等で高い評価を受けた場合 |
| スポーツの競技会における成績 | 教育研究活動の成果として、専攻分野に関連した国内外における主要な競技会等で優れた成績を収める等、特に優れた業績を挙げたと認められること | 8)① 8)② 8)③ 8)④ 8)⑤ | オリンピック等で入賞以上の結果を収めた場合 国体等で入賞以上の結果を収めた場合 西日本レベルでの体育大会等で3位以上の結果を納めた場合 九州地区レベルでの体育大会等で3位以上の結果を納めた場合 県レベルでの体育大会等で3位以上の結果を納めた場合 |
| ボランティア活動その他の社会貢献活動の実績 | 教育研究活動の成果として、専攻分野に関連したボランティア活動等が社会的に高い評価を受ける等、公益の増進に寄与した研究業績であると評価されること | 9)① 9)② 9)③ | ユニセフ等のボランティア活動等で顕彰された場合等 環境大臣等にボランティア活動等で顕彰された場合等 県知事等にボランティア活動等で顕彰された場合等 |

【申請（提出）書類】

●指定様式は、[こちらからダウンロードしてください。](#)

| 全 員 必 須 | 書 類 名 | 指定様式 | 必要部数 | 備 考 |
|--------------------------------|---|------------------|---|--|
| | 返還免除申請書類確認票 | 宮大様式A | 1部 | ・学籍番号、氏名、電話番号、指導教員氏名、本人チェック欄を記入する。 |
| | 業績優秀者返還免除申請書 または 【教員免除用】 // | 様式1-A表 様式1-B表 | 1部 | ・所定の書式を ダウンロード して記入する。 |
| | 指導教員による業績確認 | 宮大様式1 | 1部 | ・必要事項を記入する。 |
| | 修士（博士）論文の概要 | 宮大様式2 | 1部 | ・指導教員の 署名と押印 が必要（押印は印影不可）。 ・論文本体の添付は不要。 |
| | 特に優れた業績を証明する資料 ※表紙（宮大様式3～8） + 添付書類 業績毎にクリップ止め | 宮大様式 3～8 | 1セット  | <ul style="list-style-type: none"> ・「奨学金貸与期間中の業績であることが客観的に分かる」こと。 →提出資料の本人氏名、論文タイトル、掲載雑誌、発行年月、学会名称、発表年月日等にマーカーで印をつける。 →貸与期間以外（修士学生は学部、博士学生は修士・学部）の業績は認められない。 ・「専攻分野に関連した、教育研究活動の成果である」こと。 →趣味やサークル活動での業績は対象外。 ・学術論文、著書、発明（特許については特許番号取得済みに限る）、ボランティア等、それぞれの特に優れた業績に該当する様式（宮大様式3～8）に必要事項を記入し、表紙とする。表紙以外の添付資料はできるだけ画面印刷にする。 ・宮大様式7（TA・RA）は指導教員又は授業等担当教員に依頼し、具体的な活動日時を記入してもらう。 ・各様式の“業績項目No.”欄には、P6基準表の「業績項目No.」（例：1）①を記入する。 ・各様式の記載事項をよく読み準備する。 |
| 教 員 免 除 必 須 | 申請意思確認書【教員免除】 | 宮大様式9 | 1部 | ・「教員免除」枠を希望するかという意味確認です。必ず確認事項を読んでください。 |
| | 教員採用試験の合格通知書のコピー【教員免除】 | — | 1部 | <ul style="list-style-type: none"> ・対象となる学校種 【学校教育法第1条】幼稚園、小学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校 【修学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第7項】幼保連携型認定こども園 |
| | 採用猶予等通知のコピー【教員免除】 <u>該当者のみ</u> | — | 1部 | <ul style="list-style-type: none"> ・大学院修了まで採用延期制度が適用されている方は準備する。 ・各都道府県教育委員会等が発行する採用の猶予を認める通知です。 |

| | | | | |
|--|---|---|----|--|
| | 在職証明書、辞令等のコピー（電子データ） 【教員免除】 ※2026年4月1日以降に提出 〆4月12日（日） | — | 1部 | <ul style="list-style-type: none"> ・2026年4月1日時点で正規教員として在職していることを証明するもの。 ・臨時的任用の方、非常勤講師は対象外 ・4月1日以降に大学からメールで連絡が届いたら、電子データ（PDF形式）で指定のフォルダにアップロードする。 →ファイル名を「氏名+資料12」と設定する。 （例：宮崎花子資料12） |
|--|---|---|----|--|

【書類提出の注意点】

●全員提出する書類

①宮大様式 A

②様式1-A表 又は 様式1-B表 教員免除

③宮大様式 1

④宮大様式 2

⑤宮大様式 9 ※教員免除のみ

●上記①～⑤＋特に優れた業績を証明する資料を提出

例 1) 特に優れた業績：学術論文が2本、学会発表が1回、TA・RAありの場合

| | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1 様式3 | 2 様式3 | 1 様式4 | 1 様式7 |
|-------|-------|-------|-------|

例 2) 教員免除：学術論文が1本、学会発表が1回の場合

| | | |
|-------|-------|-------------------------------|
| 1 様式3 | 1 様式4 | 1 教員採用試験の 合格通知書のコ ピー |
|-------|-------|-------------------------------|

正規教員として在職後

+

| |
|-----------------------------------|
| 電子データ提出 在職証明書、辞令 等のコピー（PDF） |
|-----------------------------------|

2026年4月12日（日）〆

返還免除申請書類確認票

学籍番号

氏 名

携帯電話番号

指導教員氏名

☐ 完結（ 月 日）

| 本人 チェック欄 | 申請書類 | | 提出 本数 | 備考 | 大学記入欄 |
|-------------|------------|--|----------|-------------------------|------------|
| | 通し番号 | 書類名 | | | |
| | 全員 提出 | 1 業績優秀者返還免除申請書 または 【教員免除用】 // | 1 | 様式 1-A または 様式 1-B | |
| | | 2 指導教員による業績確認 | 1 | 宮大様式 1 | |
| | 該当者が提出 | 3 修士（又は博士）論文の概要 ※指導教員の署名と確認印が必要 | | 宮大様式 2 | |
| | | 4 研究論文一式 | | 宮大様式 3 | |
| | | 5 学会発表一式 | | 宮大様式 4 | |
| | | 6 著書，データベースその他の著作物一式 | | 宮大様式 5 | |
| | | 7 発明に関する書類一式 | | 宮大様式 6 | |
| | | 8 研究又は教育に係る補助業務の実績に関する書類（TA・RA等） | | 宮大様式 7 | |
| | | 9 音楽，演劇，美術その他芸術の発表会における成績に関する書類一式 | | 宮大様式 8 | |
| | | 10 スポーツの競技会における成績に関する書類一式 | | 宮大様式 8 | |
| | | 11 ボランティア活動その他の社会貢献活動の実績に関する書類一式 | | 宮大様式 8 | |
| | 教員免除申請者が提出 | 12 【教員免除】申請意思確認書 | | 宮大様式 9 | |
| | | 13 【教員免除】教員採用選考試験の合格通知書のコピー | | | |
| | | 14 【教員免除】（該当者のみ） 採用猶予等通知のコピー | | | |
| | | 15 【教員免除】在職証明書、辞令等のコピー（電子データ）※4月12日（日） | | PDF 形式 | （4月1日以降確認） |

1. 提出する申請書類の内容を全て本人チェック欄にチェックしてください。
2. 申請書類最上部にこの確認票を重ね、提出してください。
3. **太枠内は大学記入欄です。**申請者は記入しないでください。

⑨ 1～2の書類が揃っていない場合は受付が出来ません。

令和 年 月 日

研究科名：_____

指導教員：_____

返還免除における業績の確認について

標記の件について、下記学生の業績を確認しました。

記

研究科名：

学籍番号：

学生氏名：

特に優れた業績：学術論文（修士論文・博士論文）

| | |
|-------------------------------|-----|
| 学籍番号： | 氏名： |
| 指導教員： | 印 |
| 論文題目： | |
| 論文提出日：令和 年 月 日 | |
| | |

学籍番号

氏 名

特に優れた業績：研究論文（学術雑誌への投稿採用論文）

| | | |
|----------|--|---|
| 研究論文 No. | 研究論文題目： | |
| ※4 参照 | 掲載雑誌名： | |
| 業績項目 No. | 該当するものにチェック | 査読： <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 学術雑誌： <input type="checkbox"/> 国際 <input type="checkbox"/> 全国 <input type="checkbox"/> 西日本 <input type="checkbox"/> 九州 <input type="checkbox"/> 宮崎県 ※宮崎大学紀要は「宮崎県」に <input checked="" type="checkbox"/> Author： <input type="checkbox"/> First <input type="checkbox"/> Second <input type="checkbox"/> Third <input type="checkbox"/> Fourth <input type="checkbox"/> その他 掲載状況： <input type="checkbox"/> 既掲載 <input type="checkbox"/> 掲載決定 <input type="checkbox"/> 掲載未決定 |
| 添付する書類 | ①雑誌名、発行巻・号数、発行年月がわかるもの ※掲載雑誌の表紙等 | |
| | ②論文の掲載箇所がわかるもの（掲載雑誌の目次等） ※掲載箇所（題目や氏名等）をマーカーすること。 | |
| | ③研究論文の概要 ※論文全体の写しではなく、論文内容の概要（A 4 両面 2 枚以内）を添付すること | |
| | ④研究論文の写し ※工学研究科以外の研究科が対象 | |
| | ⑤表彰されたことがわかるもの ※論文が表彰された場合は、年月日のわかる表彰状等のコピーを提出してください。 | |
| | ⑥投稿中の場合は受領書（掲載決定通知）（写し） | |
| | ⑦投稿規定（写し） ※査読「有」に <input checked="" type="checkbox"/> した場合は、査読付き論文であることがわかるものを必ず添付すること。 | |
| | ⑧掲載雑誌の成り立ち（発足・登録者数・参加国数等）がわかるもの | |

- ※1 現課程での奨学金の貸与期間中の業績のみが対象となります。
（修士課程の学生は学部の業績は対象外、博士課程の学生は修士の業績は対象外です）
- ※2 本人氏名、論文のタイトル、掲載雑誌名、掲載年月がわかる部分をマーカーすること
- ※3 右上の「資料番号」には、様式 1-A 表、または B 表に記入した資料番号を入れてください。
- ※4 「研究論文 No.」欄：複数研究論文がある場合は、通し番号（1, 2, 3・・・）を記入してください。
- ※5 「業績項目 No.」欄：しおり P 6 の基準表で該当する業績項目 No. を記入してください。
- ※6 研究論文が複数あり、本用紙が 2 枚以上必要な場合はコピーしてください。
- ※7 ①～③、⑤は日本学生支援機構提出書類です。④、⑥～⑧は学内選考用の資料であり、提出がない場合、研究科によっては、業績としてカウントしないことがあります。

資料番号

※ 3 参照

学籍番号

氏 名

特に優れた業績：学会発表

| | | |
|----------------------------|--|--|
| 学会発表 No. | 発表題目： | |
| ※ 4 参照 | 学会名： | |
| 業績項目 No. | 該当するものに チェック | Author： <input type="checkbox"/> First <input type="checkbox"/> Second <input type="checkbox"/> Third <input type="checkbox"/> Fourth <input type="checkbox"/> その他 発表者で： <input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない 発表方法： <input type="checkbox"/> 口頭 <input type="checkbox"/> ポスター ←両方の場合にはどちらにもチェック 学会に： <input type="checkbox"/> 参加 <input type="checkbox"/> 不参加 学会規模： <input type="checkbox"/> 国際 <input type="checkbox"/> 全国 <input type="checkbox"/> 西日本 <input type="checkbox"/> 九州 <input type="checkbox"/> 宮崎県 発表日：（ 年 月 日） |
| ※ 5 参照 | | |
| 添 付 す る 書 類 | ①学会名、開催日、開催地のわかるもの ※プログラムの表紙等 | |
| | ②目次（写し）、タイムテーブル（写し）等 ※自身の発表日（時間）を示す箇所をマーカーすること | |
| | ③発表内容 ※抄録（写し）やポスターのコピー（A4） | |
| | ④表彰されたことがわかるもの ※発表が表彰された場合は、年月日のわかる表彰状等のコピーを提出すること。 | |
| | ⑤学会の成り立ち（発足・登録者数・参加国数等）がわかるもの | |
| | | |

- ※ 1 現課程での奨学金の貸与期間中の業績のみが対象となります。
(修士課程の学生は学部の業績は対象外、博士課程の学生は修士の業績は対象外です)
- ※ 2 本人氏名、発表題目、発表日、学会名がわかる部分をマーカーすること
- ※ 3 右上の「資料番号」には、様式 1-A 表、または B 表に記入した資料番号を入れてください。
- ※ 4 「学会発表 No.」欄：複数学会発表がある場合は、通し番号（1, 2, 3・・・）を記入してください。
- ※ 5 「業績項目 No.」欄：しおり P 6 の基準表で該当する業績項目 No. を記入してください。
- ※ 6 学会発表が複数あり、本用紙が 2 枚以上必要な場合はコピーしてください。
- ※ 7 ①～④は日本学生支援機構提出書類です。⑤は学内選考用の資料であり、提出がない場合、研究科によっては、業績としてカウントしないことがあります。

資料番号

※ 2 参照

学籍番号

氏 名

特に優れた業績：著書・データベース・その他の著作物

| | | |
|------------------------------|------------------|---|
| 業績 No. ※ 3 参照 | 題目等： | |
| | 業績の概要： | |
| 業績項目 No. ※ 4 参照 | 該当するものにチェック | 業績の種類： <input type="checkbox"/> 著書 <input type="checkbox"/> データベース <input type="checkbox"/> その他 著者・作成者： <input type="checkbox"/> 筆頭者である <input type="checkbox"/> 筆頭者でない 規模： <input type="checkbox"/> 国際 <input type="checkbox"/> 全国 <input type="checkbox"/> 西日本 <input type="checkbox"/> 九州 <input type="checkbox"/> 宮崎県 |
| 添 付 す る 書 類 | 表紙等（写し） | |
| | 高い評価が確認できるもの（写し） | |
| | その他 | |
| | | |

- ※ 1 現課程での奨学金の貸与期間中の業績のみが対象となります。
(修士課程の学生は学部の業績は対象外、博士課程の学生は修士の業績は対象外です)
- ※ 2 右上の「資料番号」には、様式 1-A 表、または B 表に記入した資料番号を入れてください。
- ※ 3 「業績 No.」欄：複数業績がある場合は、通し番号（1, 2, 3・・・）を記入してください。
- ※ 4 「業績項目 No.」欄：しおり P 6 の基準表で該当する業績項目 No. を記入してください。
- ※ 5 業績が複数あり、本用紙が 2 枚以上必要な場合はコピーしてください。
- ※ 6 添付書類は原則全て日本学生支援機構に提出します。学外への提出が不可のもの（学内選考のみ使用可のもの）がある場合、事前にお知らせください。

資料番号

※ 2 参照

学籍番号

氏 名

特に優れた業績：発明

| | | |
|--------------------------------------|--|--|
| 業績 No. ※ 3 参照 | 題目等： | |
| | 業績の概要： | |
| 業績項目 No. ※ 4 参照 | 該当するものにチェック | <input type="checkbox"/> 特許登録済み <input type="checkbox"/> 特許出願中 <input type="checkbox"/> 実用新案登録済み <input type="checkbox"/> 実用新案出願中 |
| 添 付 す る 書 類 | 出願資料、登録番号等 | |
| | ※登録日や登録番号等のわかるものを提出してください | |
| | その他 | |
| | ※登録された発明者等が指導教員や大学になっている場合は、あなたがそれに関わったことがわかる書類を提出してください | |
| | | |
| | | |

- ※ 1 現課程での奨学金の貸与期間中の業績のみが対象となります。
(修士課程の学生は学部の業績は対象外、博士課程の学生は修士の業績は対象外です)
- ※ 2 右上の「資料番号」には、様式 1-A 表、または B 表に記入した資料番号を入れてください。
- ※ 3 「業績 No.」欄：複数業績がある場合は、通し番号（1, 2, 3・・・）を記入してください。
- ※ 4 「業績項目 No.」欄：しおり P 6 の基準表で該当する業績項目 No. を記入してください。
- ※ 5 業績が複数あり、本用紙が 2 枚以上必要な場合はコピーしてください。
- ※ 6 添付書類は原則全て日本学生支援機構に提出します。学外への提出が不可のもの（学内選考のみ使用可のもの）がある場合、事前にお知らせください。

学籍番号

氏 名

特に優れた業績：研究又は教育に係る補助業務の実績

業績項目 No.

記入者氏名

印

| | 職種等 (※1) | 業 績 内 容 (※2、※3) |
|---|--|--------------------|
| 補助業務等により 学内での教育研究 活動に大きく貢献 し、特に優れた業 績を挙げたと認め られた場合 | <input type="checkbox"/> TA <input type="checkbox"/> RA | |
| 補助業務等により 学外での教育研究 活動に大きく貢献 し、特に優れた業 績を挙げたと認め られた場合 | <input type="checkbox"/> TA <input type="checkbox"/> RA | |

記入者へのお願い

(※1)該当する事項にチェックしてください。

(※2)業績内容は、特に優れた業績が評価できる内容をご記入願います。

(※3)業務に従事した具体的な活動日時も必ずご記入願います。

申請者へ

※現課程での奨学金の貸与期間中の業績のみが対象となります。

※右上の「資料番号」には、様式 1-A 表、または B 表に記入した資料番号を入れてください。

※「業績項目 No.」欄：しおり P 6 の基準表で該当する項目 No. を記入してください。

※記入は、指導教員もしくは授業等担当教員にお願いしてください。

※記入欄が不足する場合はコピーしてください。

※ 2 参照

学籍番号

氏 名

特に優れた業績：芸術・スポーツ・ボランティア

| | | |
|--------------------|--------------------------------|--|
| 業績 No. | 業績の概要： | |
| | 納めた成績： | |
| 業績項目 No. ※ 4 参照 | 該当するものにチェック | 業績の種類： <input type="checkbox"/> 芸術 <input type="checkbox"/> スポーツ <input type="checkbox"/> ボランティア 発表会等の規模： <input type="checkbox"/> 国際 <input type="checkbox"/> 全国 <input type="checkbox"/> 西日本 <input type="checkbox"/> 九州 <input type="checkbox"/> 宮崎県 |
| 添付する書類 | 発表会等のプログラム（写し） | |
| | ※発表会等の名称、開催日、開催場所等がわかるもの | |
| | ※ボランティアの場合、活動内容や実施時間がわかるもの | |
| | 高い評価を得たことが確認できるもの（写し） | |
| | ※表彰状、新聞記事など（本人が従事していることがわかるもの） | |
| | 発表会等の成り立ち（発足・登録者数・参加国数等）がわかるもの | |
| | その他 | |

- ※ 1 現課程での奨学金の貸与期間中の業績のみが対象となります。
 （修士課程の学生は学部の業績は対象外、博士課程の学生は修士の業績は対象外です）
- ※ 2 右上の「資料番号」には、様式 1-A 表、または B 表に記入した資料番号を入れてください。
- ※ 3 「業績 No.」欄：複数業績がある場合は、通し番号（1, 2, 3・・・）を記入してください。
- ※ 4 「業績項目 No.」欄：しおり P 6 の基準表で該当する業績項目 No. を記入してください。
- ※ 5 業績が複数あり、本用紙が 2 枚以上必要な場合はコピーしてください。
- ※ 6 添付書類は原則全て日本学生支援機構に提出します。学外への提出が不可のもの（学内選考のみ使用可のもの）がある場合、事前にお知らせください。

学籍番号

氏 名

教員免除：申請意思確認書

私は、以下の項目を確認のうえ、「教員免除」枠として申請します。

- ☐ 1. 教職大学院に在籍しており、教員採用選考試験に合格、教職大学院修了の翌年度から正規教員として採用予定である。

※本学では、教職大学院以外の大学院については、今年度は対象となりません。

- ☐ 2. 教員免除の候補者として推薦された後に、通常の特に優れた返還免除の候補者としての推薦に変更することはできないことを理解している。

- ☐ 3. 正規教員として 2026 年 4 月 1 日から採用後、4 月 1 日現在の在職証明書（または辞令等）の写しを提出することができる。

※教員免除の候補者として推薦された後に、上記書類が提出されない場合又は教員免除の要件を満たしていないことが明らかになった場合は、認定は取り消されます。

※4 月 1 日以降の連絡先を記入してください。

(連絡先) Tel : _____

Mail : _____